

柏木ビジョン

2025 .6. 26
新宿区立
柏木小学校
実践通信
第 7 号

4 年社会科 水はどこから 探究コース M.Y. 教諭

自主自律の授業

教室に入ると、ワークシートでまとめている子やタブレットでまとめている子とそれぞれで活動をしています。

「上手に私を使ってね」

と、M.Y.教諭。



それぞれの子が追究活動



タブレットでまとめる

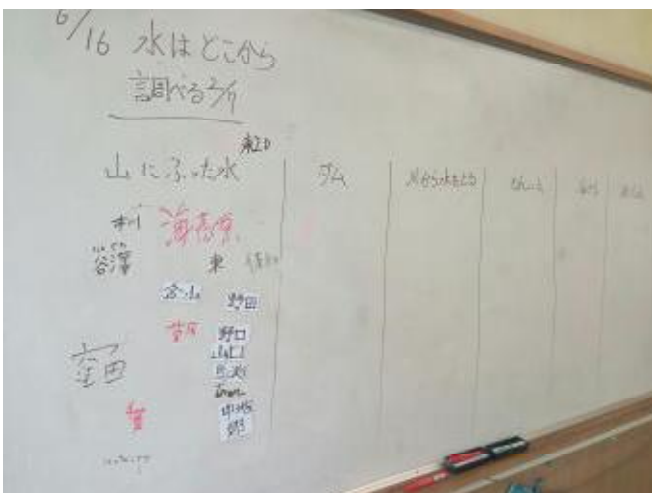
ある子が、教科書の内容をノートにまとめ出しました。「どうして？」と聞くと、「教科書の内容だけだとむずかしいので、ノートに簡単にまとめてから、タブレットに打ちこんでいく」

とのこと。それぞれに各個人で取り組んでいます、皆真剣です。

「日本の水道水のすごさというのは、きれいでいつでも使える、だったよね。そのどこにつながるかを考えて、まとめればいいんだよ」

と、M.Y.教諭が全体に向けて、アドバイスを話しました。

前面のホワイトボードには、進行表の過程を自分で書くようになっています。終わった時点で、自分の名前を記入していくため、友達の進行具合も気になっているようでした。



教科書のポイントの要約から思考につなげる



真剣そのもの



これでいいですか？



びっしり書かれたワークシート

教科書に載っていることを、自分の目的に合わせて、ポイントを要約していますが、子どもたちにはこれがなかなかの難題のようです。

「これでいいですか？」

と、M.Y.教諭をつかまえては、確認をする子たち。どのような写真や資料を使えばいいのかということを聞いている子もいます。

「いつでも言って、助けるよ」

と、M.Y.教諭。指導を受けた子は、いきいきとまとめを進めています。

ホワイトボードの進行表も、一番最終の欄に名前を書いた子たちも出始めました。みな順調に学習を進めているようです。当初は、教科書をまとめているだけなのかと思っていましたが、視点を明らかにしつつ、思考を促す授業なのだということが、わかってきました。

授業終了5分前。ワークシートにまとめている子は、びっしりとまとめられて、最後の仕上げにかかっています。

こうした授業の感想は？

「3年生のときはコースじゃなかったけれど、自分で振り返られるのがいいです。自分で調べたいことをノートにじゃんじゃんまとめてもいいし、ワークシートにまとめてもいいし、追究できる学びになっています。3年生のころは、先生がこれはどうですかと聞かれたことについて考えることが多い授業だったので全然違います。」

なるほど、子どもたちは、実は冷静に授業を分析しているのです。

「こういう授業は好きです。3年生のときは、ちょっと社会科が苦手で、友達と話したり、集中できなかったりしたけど、今はそんなことをしたら進まない。また、迷ったときは、進め方を聞けるのもいいです。自分自身成長を感じます」

授業スタイルというのは、百人百様ですが、子どもたちにとっては、自分で進め方を選択して学んでいることに、満足と自信を感じているようです。授業というのは、「学びを創り出していく」場であり機会なんだと感じさせられる4年生の授業でした。